

当温泉は、明治初年より、当館の初代により発見され、 今日にいたっております。

当初より効能が大変良く、このような不便な場所にありながら、繁栄して参りました。

「戸板に乗せられ来た人が、荷物を持って山道帰る。」とか、「杖をついてやっと歩いた人が、杖をついていたことさえ忘れ、...杖ばかりが、当館に、たまってしまって」...などという話が沢山ありました。

昔は、 車もなく、当然歩きで、道も今のように広くなく、細い山道でした。

ですからこのようなことは、無くなりましたが、やはり、杖は、よく忘れていくようです。普通った、山道の中腹まで登ると、庄内平野が一望できる広場があり、その木などに、治ったお客様によって、”人助けの湯”という字が、沢山彫られておりました。

現在、 全国の病院の医師の方々より、『一生治らないかもしれないが、ひょっとしたら、山形の筍沢温泉に行けば、治るかもしれない。』と言われ、

いらっしゃる方も大勢おります。残念ながら、当館では、その先生方を存知上げないのですが...

とにかく、現在は、医療の方面からも、”筍沢温泉”は認められてきています。しかしながら、まだ、湯治治療を止める医師も、少しではありますが、いらっしゃるようです。医療も、商業目的だとするならば、いたしかたございませんが。このように、当館には、奇跡のような話は沢山あり、書き切れないほどです。それは、決して昔話ではなく、現在の話なのです。

